

質 疑 要 旨

太郎田真理議員 No. 1

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>1 新型コロナ対策について</p> <p>(1) 専門家会議の中間提言の実践には、市町との連携・情報共有が不可欠であり、まずは市町との連絡会議を開催し、各市町の現状を確認してはどうか。</p> <p>(2) 対策本部会議のより一層の充実を図るため、現状報告と分析、判断に至る経緯なども示すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) クラスタ対策について</p> <p>ア 県内では、これまでに何件の病院クラスターが発生したのか。また、病院クラスターでの感染者数と死亡者数を聞く。</p> <p>イ クラスタ発生への反省・教訓について、市町や病院等とどのように情報共有を図っているのか。</p> <p>ウ 他県のホームページでは、クラスタ対応の詳細が公表されているが、本県でも公表してはどうか。</p> <p>(4) 県民への情報発信について</p> <p>ア 臨床衛生検査技師会の公開講座において、県の臨床検査技師が検査状況等を分かりやすく講演されていたが、県民にどのように事前の広報・情報発信をしたのか。</p> <p>イ コロナに関する情報を県民に分かりやすく、タイムリーに伝えるため、県主催での講演会等を企画してはどうか。</p> <p>(5) 保健環境センターについて</p> <p>ア コロナに関する主な業務内容を聞く。</p> <p>イ 第6波においても重要な役割を担うセンターの活動内容について、情報発信に工夫を凝らしてはどうか。</p> <p>(6) コロナが落ち着いている今こそ、県内の病院や県看護協会などに、知事自ら足を運び、意見を伺うことで第6波に備えるべきと思うがどうか。</p> <p>(7) この1年10か月余りのコロナ対応に対する知事の自己採点を聞く。</p>	<p>知 事 総 務 部 長 健康福祉部長</p>

この質疑要旨は12月9日午後3時30分に取りまとめたものです。

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>2 公共交通機関における障害者の利便性向上について</p> <p>(1) 遠隔手話通訳サービスについて</p> <p>ア 現時点での利用人数と利用回数を聞く。</p> <p>イ コロナ禍で手話通訳者の同行が難しい中、聴覚障害者が受診をためらうことのないよう、サービスの更なる普及啓発が必要と考えるがどうか。</p> <p>ウ タブレットの持参が必要ない医療機関の拡充や公共施設でも利用可能とするなど、更なる利便性の向上を図ってはどうか。</p> <p>(2) 点字ブロックについて</p> <p>ア 金沢駅の券売機周辺は混雑しているため、音声道案内を活用するとともに、混雑の少ない券売機の反対側にも点字ブロックのルートを増設するよう、JRに働きかけてはどうか。</p> <p>イ 金沢駅周辺の県道では、点字ブロックの色を弱視の方が視覚的に区別しやすいよう改善を進めているが、現在の進捗状況を聞く。</p> <p>(3) 視覚障害者信号機の現在の設置数と今後の設置計画を聞く。</p>	<p>知 事 企画振興部長 健康福祉部長 土 木 部 長 警 察 本 部 長</p>
<p>3 いしかわ百万石文化祭2023について</p> <p>(1) 音楽アドバイザーに就任する池辺晋一郎氏について、どのような期待をもって起用したのか。</p> <p>(2) 野村萬斎氏が出演されるプレイベントの実施内容を聞く。</p> <p>(3) ロゴマークの普及啓発をはじめ、今後どのように大会のPRを行っていくのか。</p> <p>(4) 金沢だけではなく、能登や加賀にも足を運んでいただき、様々な文化に触れ、楽しんでいただく仕組みが必要と考えるがどうか。</p>	<p>知 事 県民文化スポーツ部長</p>